

最新の冷媒問題への対応と展望 2026

※2026年度の最新情報です!【集合式】&【オンデマンドWEB配信】

主 催 : (公社)日本冷凍空調学会 関東地区事業推進委員会

協 賛 : (公社)空気調和・衛生工学会, (一社)日本建築学会, (一社)日本冷凍空調設備工業連合会, (一社)日本冷凍空調工業会, (一財)日本冷媒・環境保全機構 予定

開催日 : 集合型 2026年11月20日(金) 開催時間 10:00-16:50 (受付9:15-)

場 所 : 早稲田大学(西早稲田キャンパス 55号館 第二会議室)

定 員 : 50名 ※集合型への参加登録者は後日オンデマンド配信もご視聴いただけます。

オンデマンド配信予定: 2026年11月27日(金)~12月27日(日)

パリ協定およびモントリオール議定書キガリ改正に基づくHFC削減スケジュールを完遂するためには、微燃性冷媒や自然冷媒の積極的な活用が必要です。政府は2025年2月、新たな「日本のNDC(国が決定する貢献)」をUNFCCC事務局へ提出しました。これは、世界全体の1.5℃目標と整合し、2050年ネット・ゼロへの直線的な経路となる野心的な目標であり、2013年度比で2035年度に60%、2040年度に73%の温室効果ガス削減を目指すものです。

このように今後、更なる新冷媒の検討が必要となる状況であり、今回はこれらの取組み状況と将来展望について紹介します。

1 基調講演

1.1	自然冷媒システムの未来展望(仮題)	弼川 洋平 国立研究開発法人 産業技術総合研究所	10:00- 11:00
1.2	フロン政策の動向	今村 真教 経済産業省 製造産業局	11:00- 12:00

2 冷媒問題への対応

2.1	常時監視によるフロン類の漏えい検知システムについて /JRA GL-17:業務用冷凍空調機器ガイドライン	北出 幸生 一般社団法人 日本冷凍空調工業会	13:00- 13:35
2.2	家庭用エアコンにおける冷媒漏洩予兆検知技術の開発	菊地 啓太 パナソニックHVAC&CC(株)	13:35- 14:10

3 次世代冷媒・機器開発の状況

3.1	R290冷媒を採用したヒートポンプ式温水暖房・給湯機「ダイキンアルテルマ 4H」の開発	芥川 一樹 ダイキン工業(株)	14:20- 14:55
3.2	革新的なVEを実現した新冷媒R454B対応SRB形圧縮機の開発	鈴木 克樹 三菱電機(株)	14:55- 15:30

休憩

3.3	グリーン冷媒R474Bに対応したスクロールコンデンシングユニットの検討	川瀬 信義 日立グローバルライフソリューションズ(株)	15:40- 16:15
3.4	再生可能な熱エネルギーを利用し、地球環境に優しい冷媒を採用したヒートポンプチラーの開発	渡邊 激雄 (公社)日本冷凍空調学会 副会長 ゼネラルヒートポンプ工業(株)/名古屋大学	16:15- 16:50

※講演者、プログラム等は予告なく変更する場合があります。予めご了承下さい。

参加費(税込): 本学会と協賛団体の会員 18,000円 冷凍技士 10,000円 非会員 25,000円
 会員学生 2,000円 非会員学生 4,000円

集合型も、オンデマンド配信型(講演ビデオ視聴型)も参加費は同額です。

集合型に参加登録を頂いた方は、オンデマンド配信の動画視聴も可能です。

オンデマンド希望の場合は予め[【視聴環境確認ページ】](#)より、テスト動画が再生できることをご確認ください。

申込方法: 本セミナーは冷凍CPD会員登録者のみ受講できます。

未登録者はホームページより「冷凍CPD会員」登録後にセミナーにお申し込みください。

集合式の申し込みは学会ホームページ(下記URL)から開始し11月13日に締め切る予定ですので
 お早めにお申し込みください。(参加費のお支払い期限: 11月末日)

申込URL ➡ <https://jsrae-edu.org/>

備 考 1: 受講する為には、冷凍CPD会員の登録が必要となりますが、登録は無料です。

備 考 2: 申込完了後に届く自動メールから「請求書」がダウンロードできます。

セミナー参加費の振込先銀行口座は請求書に記載されています。

備 考 3: お振込み確認後、或いはクレジット決済で申し込まれた方には「領収書」を自動メールで

お送りします。領収書も請求書と同様にWEBにてダウンロード、印刷できます。

この領収書は従来のセミナー・見学会参加券同様、5枚集めることで年次大会へ1名無料で
 参加することが出来ます。(有効期限: セミナー開催日から3年間)